あなたの未来を一緒に創ろう

社会デザイン学環で
あなたの可能性を広げ、社会に貢献できる人材へ

高校生のみなさんへ

未来は予測するものではなく、創るものです。

社会デザイン学環では、あなたの「やってみたい」を実現するための環境と仲間、そして企業とのつながりを持っています。4年間の手厚い教育を通じて、あなたの中に眠る可能性を最大限に引き出し、社会に貢献できる人材へと成長するお手伝いをします。

2026年4月、新たな挑戦が始まります。

アドミッションポリシー（抜粋）

知識・技能
高等学校までに履修した教科・科目をしっかりと理解し、大学での学びに必要な基礎的な知識・技能を有する人。特に普通科で学んだ国語、数学、英語、専門学科で学んだ専門知識や技術、総合学科で学んだ探究的な学びの経験など、社会デザイン学環で学ぶ中で自らの出身学科の特性を活かすことができる人。

思考力・判断力・表現力
社会の出来事や地域課題に対して、文系・理系の枠にとらわれず、多様な視点から考察し、論理的な思考、判断ができる人。社会の変化にしなやかに対応し、地域住民との協働や企業との共同研究、新しいビジネスモデルの創出など、新たな価値を創造することに意欲を持つ人。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
社会をより良くしたいという強い意志を持ち、自ら積極的に学び、行動することができる人。

LCMセンターに続き ハイブリッド複合棟「コミュニティグローブ」完成予定

2023年にスタートしたキャンパスリニューアル構想「NBUオーザイスマートキャンパスプロジェクト」。2023年5月に完成した「LCMセンター」に続き、2026年7月には学生食堂や学生窓口などの機能をあわせ持つ3階建てのハイブリッド複合棟「コミュニティグローブ」が完成予定です。絶えずアップデートするキャンパスを中心に、新しい学びや交流を実現します。

LCMセンター（2025年3月完成）

コミュニティグローブ（2026年7月完成予定）

オーザイ スマートキャンパス プロジェクト

化けるぞ。そのきっかけをオープンキャンパスで
OPEN CAMPUS 2025 8/23 SAT 9/13 SAT

個別説明・相談会 随時受付中!
お申込みはコチラ

建学の精神／教育理念

建学の精神 産学一致

教育理念
- **産学一致**：時代の変化を捉え、柔軟な発想で、課題解決のできる人材を育成
- **人間力の育成**：社会や人との関わりの中から新しい可能性を創造し挑戦を続ける人材を育成
- **社会・地域貢献**：常に社会・地域とのつながりを意識して、主体的に行動できる人材を育成

大学院工学研究科	□航空電子機械工学専攻 □環境情報学専攻
工学部	□建築学科 □機械電気工学科 □情報メディア学科 □航空宇宙工学科
経営経済学部	□経営経済学科
保健医療学部	□診療放射線学コース □臨床検査学コース □臨床医工学コース

学科トピックスサイト

NBU日本文理大学 公式ウェブサイト

NBU日本文理大学 Instagram
公式アカウント @NBU_OITA
広報アカウント @NBU_KOUHOU

NBU 日本文理大学
〒870-0397 大分県大分市一木1727
TEL.0120-097-593 E-mail nyuusi@nbu.ac.jp

※本パンフレット掲載内容に変更が生じる場合があります。

2025年8月発行

大分・東京・宮崎など
30社以上が
あなたの成長に伴走

企業と大学の本気

2026年4月新しい大学教育への挑戦が始まる。

社会デザイン学環（がっかん）

SCHOOL OF SOCIAL AND INDUSTRIAL DESIGN

東京・京都・神奈川の大学へ
国内留学

NBU
NIPPON BUNRI UNIVERSITY
日本文理大学

工学 ×経営 ×経済 ×データサイエンス

文系・理系は関係ない。
これまでの枠組を
超える学び。

「理論」と「実践」を行き来する

対面 × リモートで
自分らしく自由に学ぶ
スマートラーニング

知の境界を超えて、未来を組み立てる。

社会デザイン学環

School of Social and Industrial Design

文系・理系という従来の枠を超え、社会と産業を横断的にデザインする新しい大学教育です。
人を中心とした視点と、テクノロジー・経済・政策的思考を融合させ、
既存の枠組みを再構築していく実践知を養いながら、共に未来をつくりませんか?

こんなヒト集まれ

- 社会や地域の課題に色々な視点で取り組んでみたい人
- 課題解決に立ち向かう武器をたくさん持ちたい人
- 地域やビジネスのリアルな現場を知りたい人
- とにかく新しいことに挑戦したい人
- 大学4年間を圧倒的に充実させたい人

ダイナミズムのある人財になってほしい

社会を構成するヒト・モノ・カネに関する振れ幅（社会を支える工学技術から企業経営まで）の大きい学修を通じて、産業や社会を変革していくために必要な、人と共創するチカラを養います。また、社会に出てから、学び続けるために必要な能力開発と、AI・データなどの時代に適したデジタルスキルも獲得します。

特徴1
実践から逆算した新しいカリキュラム

教科書を読み進めるだけではなく、まず“習うより慣れよ”。地域やビジネスの現場に飛び込む社会デザイン実践プロジェクトなどのテーマ型学習の中でリアルな課題を肌で感じた後に、理論の修得に戻っていく逆算型の教育カリキュラム。

特徴2
NBU型STEAM教育とコーナーストーン教育

工学・経営学・経済学の文理融合が可能になる独自のSTEAM教育（S-team）による多彩な人財育成と、卒業後も学び続けることのできる人間力を支える基盤づくり科目（コーナーストーン教育）。

特徴3
時間と場所に捉われないスマートラーニング

遠隔・オンライン授業60単位を中心に、授業や課題がいつ・どこにいても学べる環境。特に3・4年では、インターンシップや海外語学研修、提携大学への国内留学、起業準備など、学びと実社会での経験を両立させながら、主体的に学修を進められるカリキュラム設計。

ディプロマポリシー
-育てる人材像（DP）-

- DP 1 学び続けるための能力開発スキルと、AI活用・データ分析スキルを身に付けている
- DP 2 工学の知識及び経済学・経営学の知識を身に付けている
- DP 3 産業や社会に貢献できる共創。実践力と倫理観を身に付けている

「学環」新しい大学教育のカタチ

産業や社会に変革をもたらしていくためには、そこで起こっている現象を多角的に捉え、さまざまな専門知識を駆使しながら課題解決する必要があります。そして、実社会におけるリアルな現場では、一人で取り組むのではなく、工学、経営学、会計学、データサイエンスなど様々な専門性を持った人たちが「チーム」となって取り組みます。このため、大学教育においても、分野横断の学びに最適な枠組みとして「学部等連係課程」という新しい学士課程が定められています。学問を環のように結ぶことから「学環」と呼称されています。

設置年度	学部等連係課程実施基本組織
2026（令和8）年度	社会デザイン学環（School of Social and Industrial Design）

修業年限	入学定員	学位
4年	100人	学士（学術）

工学部と経営経済学部の教育資源を結集

社会デザイン実践プロジェクト

各年次でプロジェクトを選択し「実践知」と「応用学習」を繰り返す

地域ビジネスづくりプロジェクト
持続的社会を目指し、地域特徴や地域が抱える課題に焦点を当て、実学的に課題解決策や事業開発に挑戦する。

#地方創生 #建築 #マーケティング #都市計画 #メディア

社会エンジニアリングプロジェクト
産業やインフラ課題に焦点を当て、エンジニアリングを武器に課題解決策やインフラ開発に挑戦する。

#自動車 #デジタル #ドローン #ロボット #データ

まちづくり制度設計プロジェクト
行政や公共施設が抱える仕組みや制度について、経済学や法制度に関する知識をもとに地域活性化に挑戦する。

#マーケティング #情報 #データデザイン #経済学 #財政学

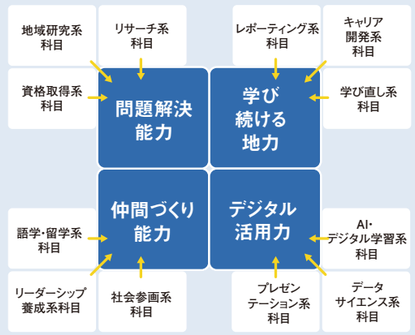
※詳細はP4をご参照ください。

実践と理論を行き来しながら繰り返し学ぶ

実践と理論を行き来しながら、多角的な視点を養い、独自の専門性を高める。

コーナーストーン教育

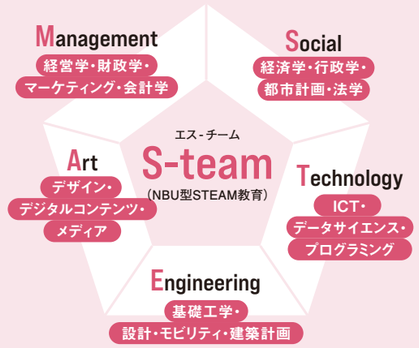
人間力開発と職能開発プログラムで
4つの基礎力を養う



※詳細はP7、8をご参照ください。

S-team（NBU型STEAM教育）

学部を横断し教員もチームで教える
クロス学修プログラム



※詳細はP5、7、8をご参照ください。

実践と理論を行き来しながら繰り返し学ぶ

将来イメージ

専門性と総合力を兼ね備えた人材として、ビジネス・地域産業・行政など幅広い分野で、当事者意識を持ち、自発的に自らの意思でアクションできるオーナーシップマインドのある人材としての活躍を目指します。

活躍が期待されるフィールド

- コンサルティングファーム
- 商社
- 銀行・証券
- 不動産・建設
- 観光
- 広告
- 放送・メディア
- 自治体
- スタートアップ企業
- 起業 など

徹底した実学教育を重視する日本文理大学だから実現できる

企業とつながり、企業と学ぶ、“産学一致”教育

多種多様な産業・ビジネスモデルをバックグラウンドとする多くの企業・団体がキャンパスに集合。
未来の産業人を育てるために、強力にバックアップいただきます。

ものづくり・インフラ系企業

- 株式会社 佐伯建設［総合建設］
- 住理工九州（住理工グループ）［自動車用防振ゴム製品製造］
- 前田道路［全国の道路舗装］
- 山忠商店株式会社［土木・建設］
- 鶴崎海陸運輸株式会社［物流拠点］
- KMG HOLDINGS［自動車販売］
- 河野電気株式会社［電気・通信設備］
- 株式会社 京製メック［産業機械開発メーカー］
- DENKEN［FA装置・半導体］
- 株式会社 臼杵造船所［船舶・鉄構造物］
- Hoshin［建築資材・測量機器］
- 大分交通［交通事業］
- キヨモト［プラント建設・機械開発］
- REALIZE（FIGグループ）［装置・ロボット開発］

顧客接点・サービス系企業

- Joyfull［チェーンレストラン事業］
- ALSOK［警備・介護］
- SHIDAX［フードサービス］
- さばえる本舗［大分の代表銘菓］
- 三和酒類株式会社［酒類製造・販売］
- JAおおいた［農業協同組合］
- 大分合同新聞社［マスメディア］
- TOS テレビ大分［マスメディア］
- TRINITA FC OITA［球団］
- FIG［情報通信］
- Mobile Create（FIGグループ）［IoT・ペイメント］
- KTS（FIGグループ）［LoT・スマートホテルシステム］
- 八鹿酒造株式会社［酒類製造業］
- OITA PLAT おおいたプラット株式会社［デジタルプラットフォームサービス］
- TOKIWA［百貨店・商業施設］
- For A-career 株式会社フォーエーキャリア［人材サービス・広告・コンサル］
- 湯の里［観光］
- 大分からあげ［食品販売］
- 風の丘［介護福祉］
- Cont Co.,Ltd.［広告制作］

金融・投資・経営支援系企業

- MIZUHO みずほ証券［大手証券会社］
- NOMURA 野村證券［大手証券会社］
- JAPAN ASSET MANAGEMENT［資産運用コンサルティング］
- ON&BOARD［スタートアップ支援・ベンチャー投資］
- 豊和銀行［県内地方銀行］
- だいしん 大分信用金庫［地域密着型金融］
- 大分県信用組合［地域密着型金融］

全国から地域密着まで、
老舗からスタートアップまで、
30社以上が教材提供

工学部・経営経済学部とも連動した授業も開講予定です。

※掲載は順不同です

「初年次から卒業まで4年間」企業とともに学び続ける

社会デザインプロジェクト実践

Featured 学環の中核プログラム Program

学びのステップ

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
事例研究①	事例研究②	戦略分析	構想訓練	実践・実装①		実践・実装②（卒業研究）	

半期ごとにテーマを変更。スキルを習得

2年間で3つのプロジェクトタイプをすべて経験（計4つの企業課題に触れる）

学びの集大成として1つプロジェクトに絞り込み卒業研究につなげる（計2つの企業課題の解決に取り組む）

低学年ではすべてのテーマを経験。興味と適性を見極める

高学年ではテーマを選び企業等と実践・実装を長期にわたって実施

	地域ビジネスづくりプロジェクト	社会エンジニアリングプロジェクト	まちづくり制度設計プロジェクト
	地域の特性を活かした持続可能なビジネスモデルの創造	工学的視点と技術力を通じて産業やインフラに関する課題を解決	行政や公共政策の視点から地域課題を捉え、地域活性を実現
専門領域	Social（地域政策） ＋Management（事業企画） ＋Art（ブランディング）	Technology（データ/AI） ＋Engineering（設計） ＋Management（事業化）	Social（政策・法制度） ＋Technology（統計・データ解析） ＋Art（情報発信）
実践内容	地域資源調査 → 商品企画 → マーケティング戦略 → 事業検証・情報発信	課題分析 → システム設計 → プロトタイプ開発 → 実証実験	政策研究 → 制度設計 →合意形成 → 政策提言
プロジェクト事例	・観光商品開発 ・法人向けサービス開発	・住宅DXアプリテスト開発 ・シミュレーションキット開発	・フードテックと福祉事業 ・内需活性化まちづくり
成果物	事業計画書、試作品、広告販促物、効果検証レポート	システム仕様書、プロトタイプ、実証データ、改善提案	政策提言書、制度設計案、住民アンケート、効果予測
培うスキル	#市場分析 #地域経済 #商品開発 #起業スキル #ブランド戦略 #プレゼンテーション力	#システム設計 #データ解析 #プログラミング #PoC設計 #IoT/AI活用 #プロジェクトマネジメント	#政策立案 #データサイエンス #法整備 #公共経済 #合意形成 #情報発信

※各テーマについては対象企業と調整を行っている段階であり、テーマ内容が変更になる可能性があります。

学生に多角的な学習機会を提供する4つの授業タイプ

キャリア講義（1〜3コマ）

業界・企業理解とキャリア意識醸成。企業で活躍する社員の方や経営者の方を交えて、実体験に基づく学びを得ながら、自分自身の将来設計を考え、目標から逆算した必要な行動計画を立てる。

対象 1年次

業界研究講義（短期）

世の中には多くの素晴らしい企業や事業があることをまず知ることからはじめる。学生にとっては触れることが少ないBtoB企業も取り上げながら、産業構造理解と課題発見力の養成を行う。業界知識について深めるために、学生自らも調査や分析を行い発表する。

対象 1年次・2年次

MBA型ケース学習（半期・集中）

九州や大分にゆかりのある企業を事例に、経営・事業における成功・失敗事例をもとにしたディスカッション型授業。調査分析・戦略立案。ディベートスキルだけでなく、経営判断力を養成。地域と密接な企業を中心に題材化し、ここでしか受けられないリアリティのある学びを展開します。

対象 1年次後期、2年次、3年次

実践・実装型学習（通年）

市場・企業の実課題に通年かけて、チームで取り組む。課題設定から社会実装方法の検討まで一貫して実践。企業課題をS-team教育で学んだ学際的な専門知を駆使しながら問題解決や事業構想に取り組むプロジェクト型授業。

対象 3年次、4年次

工学から経営経済学までの専門領域を横断

多彩な学びに触れる

S ocial …経済学、行政学、都市計画、法学

吉村 充功 教授（建築学科）

社会の基盤を構成する、「交通インフラ」を建築や都市計画、土木工学的観点から捉え、地域の在り方をデザインする。

大西 貴之 准教授（経営経済学科）

権利や義務といった目に見えない概念を扱う法学の専門家として、将来世代の権利と利益を守り、持続可能な社会を実現するための法制度のあり方を追究する。

T echnology …ICT、データサイエンス、プログラミング

衛藤 俊寿 教授（経営経済学科）

大手システム会社でデータサイエンティストとして培った実践知を武器に、ビジネスをデザインする。

白石 知弘 准教授（工学部）

国立の研究機関において、衛星データ解析アルゴリズムの開発や、温室効果ガス・CO_2排出量の実態解明に取り組んだ経験を活かし、地球規模の課題に対する研究開発に挑む。

E ngineering …基礎工学、設計、モビリティ、建築計画

穂刈 一樹 准教授（機械電気工学科）

「人の感性」を工学的に定量化する設計手法を開発。人を手助けするバイオメカニクスで、ものづくりから社会をデザインする。

池畑 義人 教授（建築学科）

環境流体力学の知をもとに、観測と解析で得た事実を冷静に捉え、企業との共創を通じて、持続可能な未来を形にする技術革新へ挑む。

A rt …デザイン、デジタルコンテンツ、メディア

松原 かおり 准教授（情報メディア学科）

コンテンツ制作から地域を救う研究を手掛ける。社会課題の本質を射抜き、「伝える」ことで、新たな地域ブランドをデザインする。

江越 充 准教授（建築学科）

ただ明るいだけでなく、心地よさや安心感をもたらす空間を創出。技術と感性の両面から、人の心に寄り添う"光"をデザインする。

M anagement …経営学、財政学、マーケティング、会計学

小久保 雄介 准教授（経営経済学科）

様々な業界から研修依頼が殺到する独自に方法論化された商品開発手法。最先端のマーケティングを駆使して、社会インパクトをデザインする。

長﨑 浩介 教授（経営経済学科）

企業会計の知見を活かし、地方自治体の経営に会計の力をどう生かすかを探求。現場に足を運び、リアルと向き合いながら、実践的な会計のあり方を追究する。

学環長 MESSAGE

衛藤 俊寿 教授

社会で活躍していくためには、ひとつの専門知識だけでは不十分です。求められるのは複数の領域を自在に行き来し、物事を鋭く、多角的に捉える「越境する知」。「社会デザイン学環」は社会そして時代の先を見据え、産業や社会そのものに変革をもたらす「戦略的ジェネラリスト」を育てる場です。

S-teamの教員陣の約半数は、実社会の最前線で活躍してきた実務家。教科書には載っていない、現場で磨かれた視点と経験を武器に、学生にリアルで実践的な指導を行います。企業や自治体との強固なネットワークを活かし、学びを「机の上での理論」だけで終わらせません。企業や地域と学生を直接つなぎ、現実社会を学びのフィールドに変えていきます。

また、学びの進め方も従来のゼミ形式とは一線を画します。プロジェクトごとに最適な専門性を持つ教員がチームを組み、柔軟に連携。工学・経営・社会制度といった分野の垣根を超え、「文理融合型」のアプローチで課題を解決へと導きます。結果として生まれるのは、従来の枠組みでは決して見えなかった新しい視点、新しい価値。

探究学習が当たり前となった今、高校までの教育で「社会課題」への関心を持ち始めた若者たちにとって、私たちのプロジェクト―地域ビジネス、社会インフラ設計、まちづくり制度など―は、まさに次のステージとなる挑戦の場です。

学生のうちに社会や企業と真剣に向き合う経験は、キャリアの初速を圧倒的に加速させます。現場には、時間や予算、利害関係といった"リアル"がある。だからこそ、自分の興味や強みを冷静に見つめ直し、将来を自分でデザインする感覚が育つのです。

迷っているならこそ、動くべき。答えはひとつじゃない時代だからこそ、視野を広げ、多様な現場に飛び込んでほしい。ただ学ぶだけでは味わえない面白さをここで実感してください。「何を学ぶか」ではなく、「学びを通して、どう世界と関わるのか」。NBUは企業と同じ評価軸での成長を後押しし、社会に出てから即通用する学びを提供します。自分の可能性を限界まで広げながら、社会の中で「生きる学び」を手に入れてください。

あなたに必要な学びと時間を提供

対面×リモートで学び自由度を高める

時間と場所が自由になる

新しい学びのスタイル

スマートラーニング

遠隔・オンライン授業は最大60単位まで修得可能。
学びの自由度が高まり、いつでもどこでも学べる柔軟な学習環境を実現!

学びの自由度を高める

時間の制約から解放
自分のペースで学習を進められるオンデマンド授業システム

場所を選ばない学習
キャンパス内外を問わず、どこからでもアクセス可能な学習環境

多様な学習スタイル
個人学習からグループワークまで、状況に応じた学習形態に対応

オンデマンド授業
- 繰り返し視聴できる講義動画
- 自分のペースで進められる課題
- 理解度に合わせた学習プラン

リモート学習環境
- オンライン参加可能な授業
- クラウド上の学習リソース
- リアルタイムでフィードバック

デジタル学習ツール
- オンラインディスカッション
- プロジェクト管理ツール
- デジタル教材ライブラリ

産学連携の拡張
- 企業との遠隔プロジェクト
- バーチャル企業訪問
- オンライン業界専門家講義

3・4年生での遠隔・オンライン授業の期間を活用した新しい学び方

A さんの場合
長期インターンシップでキャリア形成。
大手からベンチャー企業まで、長期インターシップ制度を活用して、業界・職業理解、自己成長やスキルアップを目指す。
東京家政学院大学（東京）

B 君の場合
国内留学制度を利用して東京で学ぶ。
NBUが提携する大学への国内留学制度を活用して、1～2か月程度、異なる環境で学びます。
【提携大学】
京都文教大学（京都）
桐蔭横浜大学（神奈川）

C さんの場合
出身地を拠点に変え、就活・プロジェクトに取り組む。
出身地の福岡に学ぶ拠点を移し、地元での就職活動や、地元企業とのプロジェクトを進めていきながら、授業はオンライン・オンデマンドで受講。

D 君の場合
ニュージーランドへの語学研修で国際感覚を磨く。
NBUが提携する海外の教育機関（イギリス・ニュージーランド・韓国）での語学研修・異文化体験を通じ、グローバルに活躍できる語学力・感覚を身につけます。

越境学習プラットフォーム

文部科学省採択事業「複数大学等の連携による機能の共同化・高度化を通じた経営改革支援」

- 自前主義からの脱却
- ICT活用
- 社会的学習の促進

- 高校、大学、社会の垣根を越境する
- 地域を越境する
  - ・日本版ミネルヴァの構築　・内地留学制度の構築
  - ・企業・自治体所属個人による越境学習ゼミ

こんな制度も可能性を広げる

転学部制度

社会デザイン学環に入学した方が、S-team教育などを通じて、様々な専門分野に触れていく中で、専門分野をより深く掘り下げたい場合、工学部・経営経済学部に転学部が可能。

例
社会デザイン学環入学 ▶
- システムエンジニアになりたい ▶ 工学部 情報メディア学科 へ転学部
- 建築士を目指したい ▶ 工学部 建築学科 へ転学部
- 会計分野を深く学びたい ▶ 経営経済学部 経営経済学科 へ転学部

2年次より

※転学部には一定の基準を満たす必要があります。　※その他、保健医療学部への転学部、工・経営経済・保健医療学部からの社会デザイン学環への転学環制度もあります。

4年間の流れ&履修モデル

1年次
“どこにいても”学び続ける体力と学び方のスキル・姿勢を身につける。

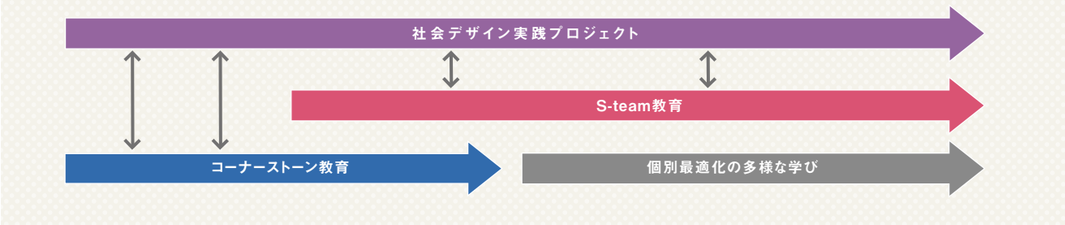
2年次
自分なりに社会や産業に対して課題意識を持ち、調査や分析ができる。

3年次
興味を持った社会課題に対して、構想や解決具体策を練り、評価できる。

4年次
企業や行政と交流・研究しながら、実社会でのリアルな課題解決に向けた準備を完了する。

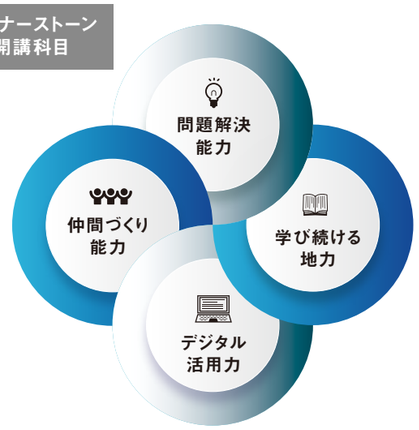
大在キャンパスでの対面授業を通じて、しっかりと地域課題に取り組みながら基礎づくり

遠隔・オンライン授業を駆使しながら、学ぶ場所を限定せず、どこからでも授業や研究に参加



卒業要件	領域	教養教育領域	AI・データサイエンス領域	工学領域	経営経済学領域	学環コア領域	合計
	必要単位数	39単位以上	24単位以上	12単位以上	14単位以上	24単位以上	**124単位以上**

コーナーストーン開講科目



問題解決能力
- 社会参画実習1・2
- 社会参画応用
- 大分学・大分楽
- 産学一致の勧め
- 商品開発学
- 起業学
- 現代社会要論
- 国際事情
- 森里海連環学と地球的課題
- 日本国憲法

仲間づくり能力
- 社会参画入門
- 人間力概論
- ボランティア概論
- リーダシップ概論
- リーダーシップ演習A・B
- 英語1～6
- 韓国語1・2
- 中国語1・2
- スポーツサイエンス
- 生涯スポーツ指導
- 健康の科学

学び続ける地力
- キャリア形成実践A・B
- 文章表現
- 自然科学入門
- 社会科学入門
- 人文科学への誘い
- 力学リテラシー
- 化学リテラシー
- 生物リテラシー
- 就職講座
- 就職活動　実践講座

デジタル活用力
- 情報リテラシー1・2
- データサイエンス入門
- データ分析演習
- DXマインド養成
- データサイエンス・AI基礎
- コミュニケーション演習
- プレゼンテーション技法

S-team教育開講科目

Social	Technology	Engineering	Art	Management
経済学・行政学・都市計画・法学	ICT・データサイエンス・プログラミング	基礎工学・設計・モビリティ・建築計画	デザイン・デジタルコンテンツ・メディア	経営学・財政学・マーケティング・会計学
・経済学入門 ・経済政策論 ・国際経済学 ・日本経済論 ・マクロ経済学 ・ミクロ経済学 ・民法IA ・民法IB ・商法IA ・商法IB ・日本国憲法 ・行政法 ・地域再生論 ・ランドスケープ ・都市計画 ・建築環境工学 ・技術者倫理 ・地理情報処理演習	・情報メディアと社会 ・データ分析と社会課題解決 ・コンピュータ基礎 ・IT基礎 ・ICT基礎演習 ・ICT応用 ・経済統計A ・経済統計B ・情報システム基礎 ・統計理論 ・情報メディアと法・倫理 ・Cプログラミング基礎 ・プログラミング入門 ・プログラミング言語 ・インターネット基礎 ・インターネット応用 ・データベース基礎	・工学総論 ・基礎機械電気工学 ・材料力学1 ・エネルギー工学 ・線形代数1 ・線形代数2 ・設計基礎 ・自動車工学1 ・自動車工学2 ・ロボット工学 ・航空工学概論 ・航空工学基礎 ・工学実験基礎 ・パワーエレクトロニクス ・建築計画1 ・建築計画2 ・インテリア環境工学 ・住居論 ・宇宙工学概論 ・メカトロニクス ・機械加工実習 ・生物リテラシー ・化学リテラシー ・力学リテラシー ・微分積分1 ・微分積分2	・映像企画・取材学 ・モダンデザイン ・Webデザイン ・Webアニメーション ・造形 ・デッサン ・コンピュータグラフィックス基礎 ・広告デザイン ・コンピュータミュージック基礎 ・リフォーム ・日本建築史 ・Webプランニング論 ・コンテンツ企画論 ・デジタルコンテンツ論 ・世界建築史	・経営学入門 ・経営学総論 ・現代社会要論 ・大分の地域ブランド創造体験 ・商品開発学 ・広告論 ・ブランド学 ・ビジネスソリューション基礎ー問題解決の技法と実践 ・マーケティング論 ・簿記入門 ・起業学 ・ビジネス・コミュニケーション論 ・流通経営論 ・まちづくりマーケティング ・eビジネス経営論 ・プロジェクトマネジメント論 ・地域イノベーション論 ・地域ブランド論 ・簿記原理 ・財務諸表論 ・会社簿記

社会デザイン実践プロジェクトタイプ別 履修モデルイメージ

※その他、1～3年次に学環コア領域として「社会デザイン実践プロジェクト」を履修。
詳細はP3、4をご参照ください。

地域ビジネスづくりプロジェクト

科目種別	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次
コーナーストーンカリキュラム	教養教育領域	社会参画入門 人間力概論 大分学・大分楽 英語1 ボランティア概論	社会参画実習1 文章表現 キャリア形成実践B 英語2 自然科学入門	産学一致の勧め 社会参画応用 商品開発学 英語3	社会参画実習2 国際事情 起業学	就職講座 健康の科学	就職活動実践講座 生涯スポーツ指導	卒業研究／地域ビジネスづくりプロジェクト
	AI・デジタル・DS領域	情報リテラシー1 データサイエンス入門	データ分析演習 情報リテラシー2	DXマインド養成 データサイエンス・AI基礎				
	学環コア領域	キャリアデザイン1	キャリアデザイン2		ライフデザインプログラム1	ライフデザインプログラム2	ライフデザインプログラム3	
S-teamカリキュラム	Social					経済政策論 国際経済学	日本経済論	
	Technology	情報メディアと社会				統計理論		
	Engineering		工学概論	インテリア環境工学	建築計画1			
	Art				モダンデザイン	広告デザイン	Webプランニング論 コンテンツ企画論	
	Management	経営学入門	経営学総論	広告論 マーケティング論	ビジネス・コミュニケーション論 流通経営論			

社会エンジニアリングプロジェクト

科目種別	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次
コーナーストーンカリキュラム	教養教育領域	社会参画入門 人間力概論 大分学・大分楽 英語1 力学リテラシー	社会参画実習1 文章表現 社会科学入門 キャリア形成実践B リーダーシップ概論	産学一致の勧め 社会参画応用 生物リテラシー 商品開発学 リーダーシップ演習A	社会参画実習2 化学リテラシー スポーツサイエンス	就職講座 日本国憲法	就職活動実践講座	卒業研究／社会エンジニアリングプロジェクト
	AI・デジタル・DS領域	情報リテラシー1 データサイエンス入門	データ分析演習	DXマインド養成 データサイエンス・AI基礎				
	学環コア領域	キャリアデザイン1	キャリアデザイン2		ライフデザインプログラム1	ライフデザインプログラム2	ライフデザインプログラム3	
S-teamカリキュラム	Social					経済政策論 国際経済学	行政法 日本経済論	
	Technology			コンピュータ基礎	情報システム基礎 IT基礎	プログラミング入門	プログラミング言語	
	Engineering	微分積分1	工学概論 微分積分2	基礎機械電気工学 航空工学概論	工学実験基礎			
	Art				Webデザイン			
	Management	経営学入門	経営学総論					

まちづくり制度設計プロジェクト

科目種別	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次
コーナーストーンカリキュラム	教養教育領域	社会参画入門 人間力概論 大分学・大分楽 英語1 キャリア形成実践B	社会参画実習1 文章表現 現代社会要論 リーダーシップ概論	産学一致の勧め 社会参画応用 人文科学への誘い リーダーシップ演習A 商品開発学	社会参画実習2 スポーツサイエンス 森里海連環学と地球的課題 起業学	就職講座 日本国憲法	就職活動実践講座	卒業研究／まちづくり制度設計プロジェクト
	AI・デジタル・DS領域	情報リテラシー1 データサイエンス入門	データ分析演習 情報リテラシー2	DXマインド養成 データサイエンス・AI基礎				
	学環コア領域	キャリアデザイン1	キャリアデザイン2		ライフデザインプログラム1	ライフデザインプログラム2	ライフデザインプログラム3	
S-teamカリキュラム	Social				経済学入門	経済政策論	日本経済論	
	Technology			コンピュータ基礎		プログラミング入門	ICT応用	
	Engineering	線形代数1	工学概論 線形代数2	設計基礎	建築計画1		住居論	
	Art				Webデザイン			
	Management	経営学入門	経営学総論	簿記入門		財務諸表論		

学生サポートの流れ

入学
初年次教育と個人面談による大学生活への円滑な導入サポート

学修期間
社会デザイン実践プロジェクトを通じた成長サポート

就職活動・卒業
キャリア形成と社会人への円滑な移行をサポート

Learning Support Team

- 1対1の個人面談で不安解消
- 基礎学力の定着と学習習慣の確立
- キャリア意識の早期醸成
- 履修状況の継続的なモニタリングと個別指導

Career Support Team

- 企業連携による実践的な就職活動支援
- 徹底した個別キャリア面談
- インターンシップや企業見学などの機会提供
- 社会人基礎力の最終確認と強化

NBUでの4年間を支えるエキスパート

人間力の育成を重視しているからこそ、どこよりも手厚い体制を整えていることが日本文理大学の特徴です。

Learning Support Team
家鋪 真衣

徹底して「わからない」を解決!

「わからないことをそのままにしない」ように、日々、個別での学習サポートを行っています。授業でわからなかったことや課題でつまづいた部分など、粘り強く取り組んだ問題を解くことができた瞬間の「学生の笑顔」が私の励みにもなっています。

Career Support Team
小田 浩史

幅広く活躍する卒業生が味方

卒業生や取引先企業様などの膨大なネットワークの中から教育題材の掘り起こしやインターンシップ先の開拓など、学生にとって有用な環境を整備しています。NBUは卒業生と継続してコミュニケーションを取れている数少ない大学の一つだと思いま

Learning Support Team
池内 陽祐

全学生を知っている! を目指す

学生の日頃の様子や出席、成績状況を教職員で共有し、意見交換をしています。大学生活や勉強のことだけではなく、プライベートな相談に乗ることも多く、チームメンバー全員がそういった関係性を築けるように心がけています。

Career Support Team
永田 和郎

学生ファーストの個別指導

誰がどこまで進んでいるか、学生一人ひとりの視点に立って、エントリーシートの書き方や面接の進め方も含めて細かくサポートしています。企業の採用担当者には「ここまでのサポートは聞いたことがないです」と驚かれることが多いです。

入試情報

※詳細は「2026(令和8)年度 日本文理大学 入学試験要項」で必ずご確認ください。
※「指定校推薦入試」に関する詳細は、対象校に依頼文書を送付しております。

入学定員／入試区分別募集人員

試験区分		募集人員(名)
学校推薦型選抜	指定校推薦入試	20
	公募推薦入試	5
	附属高校推薦入試	10
総合型選抜	自己推薦 学力試験型入試	5
	自己推薦型入試	3
一般選抜	学力試験2科目型入試	25
	大学入学共通テスト併用型入試	20
	大学入学共通テスト利用入試	10
その他	社会人入試	2
入学定員		100

納付金

単位:円

年次		1年次		2〜4年次(各学年)	
費目		前期分(入学手続時)	後期分(10月頃)	前期分(4月頃)	後期分(10月頃)
入学金		200,000	—	—	—
授業料		468,000	468,000	498,000	498,000
教育システム費		90,000	90,000	90,000	90,000
学生教育研究関係保険		3,660	—	—	—
委託徴収金	後援会費	20,000	—	20,000	—
	学友会費	11,000	—	10,000	—
小計		792,660	558,000	618,000	588,000
合計(年間)		1,350,660		1,206,000	

奨励金制度

※内容に若干の変更が生じる場合があります。

成果連動型奨励金制度
2年次以降、学業成績の他、SA(スチューデント.アシスタント)制度やプロジェクトでの活動実績等に基づいた教育ポイントを総合評価し、学びの成果によって奨励金制度を適用します。

NBU校友会奨学金制度
2年次以降、前年度の学業成績によって特待生を選考し、日本文理大学校友会より奨励金が給付されます。

入試制度

学校推薦型選抜

指定校推薦入試(専願)

選考方法

- **基礎学力テスト1科目(100点)**
  「数学(数Ⅰ)」「国語(現代の国語、言語文化〈古文、漢文を除く〉)」より1科目選択
- **面接試験(100点)**
- ★**合格者には入学金半額(10万円)控除**

計 200点

公募推薦入試(併願)

選考方法

- **小論文試験(100点)**
  テーマ型小論文／600〜800文字以内
- **面接試験(100点)**

計 200点

総合型選抜

自己推薦 学力試験型入試(併願)

選考方法

- **基礎学力テスト1科目(100点)**
  「数学(数学Ⅰ)」「国語(現代の国語、言語文化〈古文、漢文を除く〉)」より1科目選択
- **面接試験(100点)**

計 200点

自己推薦型入試(専願)

選考方法

- **面接試験(100点)** ※出願前面談を実施します。

計 100点

一般選抜

学力試験2科目型入試(併願)

選考方法

- **学力試験2科目(200点)**
  「数学(数Ⅰ・数Ⅱ)」「国語(現代の国語、言語文化〈古文、漢文を除く〉)」「外国語(英語〈英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ／筆記〉)」、理科(物理基礎・物理)より2科目を選択

計 200点

大学入学共通テスト併用型入試(併願)

選考方法

- **学力試験1科目(100点)**
  「数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ)」「国語(現代の国語、言語文化〈古文、漢文を除く〉)」「外国語(英語〈英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ／筆記〉)」、理科(物理基礎・物理)
  総合問題(1期のみ)より1科目を選択
- **大学入学共通テスト2科目(200点)**
  「数学」「理科」「国語」「地理歴史・公民」「外国語」「情報」より高得点2科目を利用

計 300点

共通テスト利用〔3科目型〕〔5科目型〕入試(併願)

選考方法

〔3科目〕
- **大学入学共通テスト3科目(300点)**
  「数学」「理科」「国語」「地理歴史・公民」「外国語」「情報」より高得点3科目を利用

計 300点

〔5科目〕
- **大学入学共通テスト5科目(500点)**
  「数学」「理科」「国語」「地理歴史・公民」「外国語」の5教科のうち各教科の高得点1科目ずつを利用

計 500点